

指定管理者の評価結果について

1 指定概要

(1) 施設概要

施設名：①大崎会館

②西地域防災コミュニティセンター

所在地：①津島市中地町3丁目29番地1

②津島市下新田町2丁目241番地

敷地面積：①1,896 m<sup>2</sup> (建物敷地 1,201 m<sup>2</sup>及び駐車場用地 695 m<sup>2</sup>)

②1,435.53 m<sup>2</sup> (県道歩道設置に伴いH27に17.92 m<sup>2</sup>を売却)

延床面積：①299.85 m<sup>2</sup>

②457.45 m<sup>2</sup>

主な施設：①ホール、学習室、和室

②アリーナ、調理実習室、会議室、和室

(2) 指定管理者の概要

指定管理者名：西小学校区コミュニティ推進協議会

所在地：津島市中地町3丁目29番地1

指定管理者概要：コミュニティ事業推進団体として、地域住民等の連帯意識の向上を図るとともに、地域福祉の一層の増進を図っている。

主な業務：大崎会館、西地域防災コミュニティセンターの管理運営に関する業務

(3) 指定期間

平成26年4月1日～平成30年3月31日

## 2 評価結果

### (1) 評価基準

評価項目
<b>I 適正な管理の確保に対する取り組み</b>
(1) 管理の実施状況 <ul style="list-style-type: none"><li>施設の維持管理が適切に行われているか。</li><li>施設の管理運営にあたる人員配置が合理的であったか。</li><li>個人情報を保護するための対策が十分であったか。</li></ul>
(2) 安全対策、危機管理体制など <ul style="list-style-type: none"><li>事故防止などの安全対策や事故発生時の危機管理体制は十分であったか。</li><li>防犯、防災対策や非常災害時の対応などが十分であったか。</li></ul>
<b>II 市民の平等利用、サービス向上、利用促進等に関する取り組み</b>
(1) 施設の利用促進など <ul style="list-style-type: none"><li>施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、十分なサービスが提供されたか。</li></ul>
(2) 市民の平等利用、サービスの質の維持・向上 <ul style="list-style-type: none"><li>利用者の意見を反映させる取り組みが行われたか。</li><li>利用者が公平に、平等に利用できるよう配慮されたか。</li><li>サービスの質を維持・向上するための具体的な取り組みがなされ、効果があったか（提案のあった事業等は、実施されたか。効果があったか）。</li></ul>
<b>III 管理経費の安定や低減に対する取り組み</b>
(1) 指定管理に係る費用（＝管理コスト） <ul style="list-style-type: none"><li>協定で定めた費用で施設の管理運営が効率的になされたか。</li><li>施設の管理運営に係る収支の内容に不適切な点はないか。</li></ul>
(2) 収入の増加や経費の低減に向けた創意工夫 <ul style="list-style-type: none"><li>施設の管理運営に係る収支の内容に不適切な点はないか。</li><li>再委託をした業者は、適切な水準で行われたか。</li></ul>
<b>IV 施設の設置目的の達成に関する取り組み</b>
(1) 施設の設置目的の達成状況 <ul style="list-style-type: none"><li>施設の設置目的に沿った活用がなされているか。</li><li>施設の設置目的を達成するための取り組みがなされ、効果があったか。</li></ul>

(2) 評価結果

評価項目	平成 28 年度の状況	評点
<p>I 適正な管理の確保に対する取り組み</p> <p>(1) 管理の実施状況</p> <p>(2) 安全対策、危機管理体制など</p>	<p>7人体制で管理業務を行い、適正に管理運営されている。また、駐車場水銀灯の自動点灯への切り替え、スズメバチ再発防止のための樹木等の管理など、利用者の安全確保に努めた。危機管理体制については、事務室への緊急時の対応の掲示、管理人不在時には連絡担当者を受付に大きく表示するなど、状況に応じた対策が取られている。</p>	<p>3 点／3 点</p>
<p>II 市民の平等利用、サービス向上、利用促進等に関する取り組み</p> <p>(1) 施設の利用促進など</p> <p>(2) 市民の平等利用、サービスの質の維持・向上</p>	<p>利用者数は大崎会館が 16,976 人 (H27) から 16,216 人 (H28) に、西地域防災コミュニティセンターが 11,847 人 (H27) から 12,073 人 (H28) で、特に西地域防災コミュニティセンターにおける利用者が増加した。</p> <p>高齢者の利用者が多く、会議などに使用する折り畳みテーブルを軽量のものに取り換えたり、女子トイレの電気を自動点灯に取り換えたりと、年配の方に配慮したサービスが心がけられている。</p>	<p>3 点／3 点</p>
<p>III 管理経費の安定や低減に対する取り組み</p> <p>(1) 指定管理に係る費用 (=管理コスト)</p> <p>(2) 収入の増加や経費の低減に向けた創意工夫</p>	<p>光熱水費等の管理経費の節減に努め、概ね当初予算通りの適正な執行となった。</p> <p>また、女子トイレの電気を自動点灯に取り換え、消し忘れによる無駄を省くなどの経費削減に努めた。</p>	<p>2 点／3 点</p>
<p>IV 施設の設置目的の達成に関する取り組み</p> <p>(1) 施設の設置目的の達成状況</p>	<p>地域住民の交流拠点施設として、コミュニティ活動や各種サークル活動等で利用され、市民の連帯意識の向上が図られた。</p> <p>また、ラック等を活用し、地域の情報を発信するなど、コミュニティ事業の活性化につながるよう努めた。</p>	<p>2 点／3 点</p>
<p>合 計</p>		<p>10 点／12 点</p>
<p>総合評価</p>		<p>A</p>

[評価の理由]

I 適正な管理運営の確保に対する取り組み

利用者に安心・安全に利用していただけるよう、スズメバチ再発防止のために樹木に刈り込みを入れるなど、指定された施設管理にとどまらず、周囲の環境などにも配慮した施設管理が行われている。また、高齢者の利用が多いことから、緊急連絡先の表示を大きくするなど、利用者目線に立った施設管理を心掛けられている点について評価できる。

II 市民の平等利用、サービス向上、利用促進等に関する取り組み

高齢者でも利用がしやすいよう、軽量の折り畳みテーブルを複数年に渡り計画的に導入したり、利用の多い女子トイレの電気を自動点灯に取り換えたりと、利用者目線でのサービス提供が行われている。

また、利用者アンケート箱の設置による利用者モニタリングも行われているが、利用者の多くが事務室に意見を直接届けており、今後のサービス向上のために、より詳細な意見の集約が行われている。これらの意見から実施に向けての検討を行い、複数年計画で実施している点について評価できる。

	大崎会館	西地域防災コミュニティセンター	合計
平成 24 年度	14,434 人	12,850 人	27,284 人
平成 25 年度	15,175 人	12,122 人	27,297 人
平成 26 年度	16,622 人	12,726 人	29,348 人
平成 27 年度	16,976 人	11,847 人	28,823 人
平成 28 年度	16,216 人	12,073 人	28,289 人

III 管理経費の安定や低減に対する取り組み

一般的な光熱水費の削減はすでに取り組みされているが、トイレの自動消灯への取り換えなど、更なる経費節減に努められている。

IV 施設の設置目的の達成に関する取り組み

設置目的である地域住民のコミュニティ活動推進のために、施設利用PRや施設利用者との関係強化を積極的に行い、利用しやすい施設整備やサービス向上が図られた。

また、地域における様々なコミュニティ活動情報を発信することにより、地域住民等の連帯意識が年々高まっており、コミュニティ事業の活性化に努められている。

【評 点】

3点：計画された業務水準を大きく上回る成果があり、特に優れていたもの

2点：計画された業務水準を概ね達成したもの

1点：再三の指導や是正勧告の結果、計画された業務水準を概ね達成したもの

0点：計画された業務水準を達成できなかったもの

**【総合評価】**

S：目標や計画を大きく上回る成果があり、特に優れていた。

（「1点」以下の項目がなく、かつ、合計得点が全体の85%以上）

A：目標や計画どおりの成果があり、適正な管理が行われた。

（「0点」の項目がなく、かつ、合計得点が全体の60%以上85%未満）

B：目標や計画を下回る点があり、さらなる努力が必要である。

（「0点」の項目がなく、かつ、合計得点が全体の30%以上60%未満）

C：管理運営に適切でない点があり、改善すべきである。

（「0点」が1項目以上ある、または、合計得点が全体の30%未満）